

第4回定例会の主な日程

令和4年第4回定例会は、左記の会期日程で開催されました。

- 10月31日(月) 本会 議 (開会、知事提出議案説明)
- 11月4日(金) 本会 議
- 7日(月) 本会 議
- 8日(火) (一般質問・質疑) 常任委員会
- 11月10日(木) 本会 議
- 11月11日(金) 本会 議 (予算関係議案常任委員長報告等)
- 11月14日(月) 新型コロナウイルス感染症対策調査特別委員会
- 11月15日(火) 予算特別委員会
- 11月16日(水) 本会 議 (委員長報告、採決、閉会)

一般質問(要旨)

●質問者

- 11月4日(金) 鈴木 将 議員 (いばらき自民党)
- 坂本 隆司 議員 (いばらき自民党)
- 金子 晃久 議員 (いばらき自民党)
- 11月7日(月) 高安 博明 議員 (県民フォーラム)
- 沼田 和利 議員 (いばらき自民党)
- 大龍 愛一郎 議員 (いばらき自民党)
- 11月8日(火) 小松崎 敏紀 議員 (いばらき自民党)
- 石塚 隼人 議員 (いばらき自民党)
- 西野 一 議員 (いばらき自民党)

こちらから録画映像でご覧になれます。▶ https://ibaraki-pref.stream.jfit.co.jp/?tpl=gikai_result&gikai_id=160



坂本 隆司 議員
いばらき自民党
龍ヶ崎市・利根町選出

脱炭素社会を目指した企業支援

議員 脱炭素社会を目指して企業にもさらなる温室効果ガスの削減が求められる中、今後どのように企業の取り組みを支援するのか。
知事 本県の脱炭素化は、エネルギー構造の転換を目指した抜本的かつ中長期的な取り組みが不可欠であり、基金を活用し企業の設備投資の呼び込みを図る。短期的には省エネ診断などの省エネ対策や再エネ導入を支援する。引き続き、企業の競争力強化につながる脱炭素化の取り組みを支援していく。

子どもたちへの生命の安全教育

議員 加害者にも被害者にもならないための子どもたちへの生命の安全教育を、今後どう進めるのか。
教育長 性犯罪や性暴力の根絶に向け教育の果たす役割は大変大きい。このため、優良事例を共有し指導方法を工夫・改善するなど、教材の有効な活用方法を指導するなど、教員の指導力の向上を図る。また学校と家庭が連携してSNSの安全な利用のルール作りを進める。
(ほかに、認知症対策と予防、障害のある生徒の教育環境整備なども質問)



再生可能エネルギー導入例(太陽光パネル)



高安 博明 議員
県民フォーラム
日立市選出

県内産業を支える今後の働き手の確保

議員 深刻な人手不足の状況がある中、県内企業が人材確保に取り組むやすい環境づくりを一層進める必要がある。県内企業を支える働き手をどう確保していくのか。
知事 企業と求職者とのマッチングの機会の提供をはじめ、若者が企業経営者に随行する独自のインターンシップや介護技能実習生に対する介護福祉士の資格取得に向けた独自の人材育成プログラムの実施など、県内企業の働き手の確保を後押ししていく。

アフターコロナを見据えたインバウンドによる観光需要の取り込み

議員 インバウンドによる観光需要が高まる中、外国人観光客の誘客に今後どのように取り組むのか。
営業戦略部長 台湾やタイを対象に誘客プロモーションを重点的に実施している。また、個人旅行者の取り込みに向け、SNSやインフルエンサーを活用した情報発信、都内に滞在する外国人観光客向けのオプショナルツアーの造成促進を図り、誘客につなげていく。
(ほかに、食料品等の物価高に対応した農産物の生産、先進機器を活用した渋滞緩和なども質問)



台湾大規模プロモーション



鈴木 将 議員
いばらき自民党
つくば市選出

茨城の戦略的なPR

議員 本県が行政における広報戦略のトップランナーを目指すためには、SNSなどの新たな媒体とテレビなどの従来からの媒体を、ともに充実させていく取り組みが大変重要と考えるが、所見は。

知事 本県の魅力を県内外に広く伝えるためには、戦略的なPRが大変重要であり、テレビ局への積極的なパブリシティ活動の展開や、いばらきTVでVtuber「茨ひより」を起用するなど、話題化を意識した取り組みを進めていく。

つくば市内の人口増加に対する県立高校の入学定員の対応

議員 つくば市内の県立高校の定員が子どもの増加に追いついていない状況は明らかだが、対応は。
教育長 つくば市を含むエリアと周辺エリアの中学校卒業生数を推計すると、2030年までに、つくば市から多くの生徒が通学している土浦市、牛久市、下妻市の3市では約500人の減となる一方、つくばエリアでは約700人増となる見込みであり、適切な時期に県立高校の定員を増やしていく必要があると考えている。
(ほかに、ヤングケアラー実態調査の結果に対する分析、物価高騰の影響を受けている事業者支援なども質問)



県公認Vtuber「茨ひより」の名刺



金子 晃久 議員
いばらき自民党
常総市・八千代町選出

マイナンバーカードの交付率向上

議員 マイナンバーカードの取得促進に向けて、国が大きくかじを切ったことに伴い、県としても、交付率の向上に向けた側面的支援の役割をしっかりと果たしてほしいと考えるが、今後の取り組みは。

知事 これまでの対策を強化し、県民が身近な場所で簡単に申請できる環境づくりに一層取り組んでいく。また、カードの普及を基盤として施策を進める立場にある県職員に対して、率先してカードを取得するよう働き掛けていく。

次世代を見据えたマイクログモビリティの推進

議員 交通弱者などの移動を支える次世代モビリティ分野で、本県が全国をリードする存在となれるよう、果敢に挑戦する姿勢を見せてほしいと考えるが、所見は。
産業戦略部長 企業が取り組む技術開発や、社会課題の解決に向けた実証実験などが、円滑に実施でき、安全性を示す結果が積み重ねられるよう、実験場所の提供や関係機関との調整などに努めていく。
(ほかに、水害に備えた避難確保計画の作成、学校給食の提供体制の維持なども質問)



搭乗型自動運転モビリティ(4人乗り)



沼田 和利 議員
いばらき自民党
牛久市選出

牛久沼の水質浄化

議員 多くの方に牛久沼を訪れていただくためにも、水がきれいだということも大切な要素と考えるが、水質浄化にどう取り組むのか。
県民生活環境部長 牛久沼に流域から流れ込む汚濁負荷削減が重要なため、生活排水対策、市街地からの流出対策、農地対策などを実施してきた。今後の流域人口の増加を踏まえ、NP型高度処理浄化槽設置や合併処理浄化槽への転換に係る宅内配管工事などへの補助などの取り組みを着実に実施する。

議員 県道土浦竜ヶ崎線バイパスおよび県道土浦稲敷線バイパスの整備状況と今後の見通しは。
土木部長 県道土浦竜ヶ崎線バイパスは、牛久阿見インターチェンジ北側の約1・3キロ区間を、県道土浦稲敷線バイパスは、土浦竜ヶ崎線バイパスまでの約0・6キロ区間を優先して整備を進めている。両路線の優先区間が圏央道の4車線化に間に合うよう整備を推進していく。
(ほかに、県南地域の振興、高校生の就職活動の支援なども質問)



牛久沼のさらなる水質浄化を